

(参考様式)

## 申 述 書

平成 年 月 日

申請者氏名 印

年賦金の返還の期限の猶予を求める具体的な事情は、返還期限猶予申請書記載のほか、下記のとおりです。

記

※具体的な事情には、返還が困難である事情、その期間（不明な場合は見通し等）等について、申述書（返還期限猶予）記載例も参照しながら具体的に記載してください。

(参考様式)

訂正する場合は、二重線で該当箇所を抹消し、必ず押印してください。

【記載例】

## 申 述 書

返還期限猶予申請書と同一の印鑑で押印してください。スタンプ式の使用はできません。朱肉で鮮明に押印してください。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

申請者氏名 司 法 花 子

司法

年賦金の返還の期限の猶予を求める具体的な事情は、返還期限猶予申請書記載のほか、下記のとおりです。

### 記

※具体的な事情を記載してください。

(記載例)

個人事務所を開設して弁護士業務に従事しているところ、本年2月1日に出産し、育児のため働くことができず、自営業で雇用保険にも加入していないことから育児休業給付金を受給することもできないため、収入がありません。今後〇年〇月〇日まで育児のため休業する予定であり、今後も収入が見込めません。昨年度の収入から必要経費を差し引いた額は200万円を超えています。以上の事情から、年間所得は200万円以下となる見込みであり、年賦金を返還することが困難ですので、返還期限の猶予を求めます。

※具体的な事情には、返還が困難である事情、その期間（不明な場合は見通し等）等について、申述書（返還期限猶予）記載例も参照しながら具体的に記載してください。